

活動報告（9月リポート）

担当：県西部農林事務所農業女子会プロジェクトチーム

表題：第3回「つながる農業女子会」を開催しました

日時：平成30年9月27日（木曜日）

若手女性農業者向け経営セミナー「つながる農業女子会」の今年度第3回を9月27日（木曜日）に開催しました。今回は経営理念や経営手法、その生き方が素敵な女性2人を訪ねる視察研修で、13人の受講生が参加しました。

<視察訪問先①：株式会社mocha-chai 代表取締役 三井いくみ氏>

三井さんは浜松市在住の広告デザイナーで、インバウンド向けの農業・農村体験プログラムの造成にも取り組んでいます。三井さんから「体験は外国人観光客が『1万円払う価値がある』と思う内容に」と説かれると、受講生たちは「農業・農村体験に1万円…？」と少し驚いた様子でした。しかし、三井さんが手がけた事例を聞き、また、この「つながる農業女子会」の受講生の一人（お茶農家）がすでに三井さんと一緒にインバウンド企画に取り組み、好評を得て実績を上げていると知ると、「私の経営でも、もしかしたら…」と可能性を感じたようでした。

<視察訪問先②：いちご生産者／「KURI BERRY FARM」代表 栗本めぐみ氏>

栗本さんは御前崎市のいちご生産者です。東京農大卒業後、流通の知識や営業・企画のスキルを身に付けるため、7年の企業勤務を経て就農。10年目。品評会には毎年入賞し、23年には農林水産大臣賞を受賞するほどの高度な栽培技術と、全国展開する生チョコレート専門店など幅広い販売パートナーを持っています。

販路は経営の勉強会等での出会いから広がっていること、徹底した摘果により大粒・濃厚、収穫期には光るほどの完熟いちごを実際に食べて、直接農園を見て、評価してくれる相手とだけ取引していること、夫も同じいちご生産者だが、それぞれビジョンを持って起業（就農）した後に結婚したため、自然と夫婦別経営になっていること、企業勤務時代より短い労働時間で、ワークライフバランスを実現していること、農業の成功に必要なのは、技術力以上にマネジメントし実行する力だと考えていることなど、いろいろなお話を聞かせていただきました。

受講生からは、「農家は“大変”“汚い”“儲からない”は違う！というのを実践し、証明しているのがすごいと思いました」「自分の作物や農業に対するポリシーとそれを貫く姿が素敵でした。自分も妥協せずにやっていきたいと思います」などの感想が寄せられました。



三井さんの事務所にて



栗本さんのいちごハウスにて